

令和2年度 松戸市協働のまちづくり協議会 第3回 会議録

【日 時】 令和2年11月15日(日)9時15分～16時10分

【場 所】 松戸市役所 議会棟3階 特別委員会室

【出席者】 犬塚 裕雅 会長、杉浦 利彦 副会長、小川 早苗 委員、牧野 昌子 委員、
長江 曜子 委員、秋山 和敏 委員、佐藤 秀樹 委員、笹川 昭弘 委員、
(欠席)坂野 喜隆 委員

【傍聴者】 4名

1 開会

2 協働のまちづくり協議会委員紹介

3 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

4 令和3年度実施分協働事業・市民活動助成事業プレゼンテーション

【協働事業】

事業名:「まつどの介護」プロモーション事業

団体名:特定非営利活動法人 Smile Resource

担当課:介護保険課

(委員)

完成したビデオの上映会はどこで行うか。また、約30種のサービスのうち14種の動画で、計画書にある地域密着型サービスは網羅できるのか。

(団体)

上映会の実施場所は介護保険課と相談していくが、市の介護保険制度の説明会や市民の勉強会が毎年開催されるため、そのときに併せて上映させてもらえればと考えていた。そのため、予算として計上していない。また、地域密着型サービスで考えていくと、小規模多機能と定期巡回型訪問介護が中心となり、その数が14種ある。14種の動画作成は目標数であり、コロナのためどこまでできるかわからないが、制度の流れをわかりやすく制作したい。

(委員)

動画の公開については、高齢者等、携帯があまり使えない人もカバーできるように考えてほしい。また、社会福祉協議会や地域包括支援センターとの連携はどう考えているか。

(団体)

公開先については検討していく。地域包括支援センターとはもちろん協力していきたい。認知度を上げるためにも重要だと考えている。

(担当課)

介護保険制度の新しいサービスは認知度が2割程度である。いざ必要になったときに介護サービスの内容を調べる人が多いため、事前に知っておいてほしいという思いがあり、介護が必要になる直前でも直後でも動画を利用できるように協力していきたい。

(委員)

団体の活動の実績について、「介護職員へのフォローアップ」とあるが具体的な内容は。

(団体)

介護職員が離職してしまうことが、安定した介護サービスの低下にもつながると考えている。会社の中で話せないことが介護職員にあると思われるため、そういった人を対象に秋頃から相談対応を実施している。実際にストレスチェックで引っかかった人の悩みを聞いたところ、現場では話せないことが話せてスッキリした、といった感想をもらった。今後も介護職員をサポートしていきたい。

(委員)

動画を見た人が、自分がどのくらい介護が必要な状態なのかわかるような動画を作成するのか。

(団体)

今の自分の状態でどこに相談、手続きすればいいのかがわかるような動画を作っていきたい。団体にケアマネもいるので、ニーズに合わせて作っていきたい。

事業名:料理教室を通じた父親の意識改革事業

団体名:MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル

担当課:男女共同参画課

(委員)

父親と子どもでお菓子づくりを行うことを提案しているが、お菓子よりも食事づくりのほうが良いのではないか。なぜお菓子づくりにしたのか。

(団体)

お菓子づくりでも料理のプロセスは学べる。また、お菓子は子どもが喜ぶため。

(委員)

食材費が高めだが、参加者に負担してもらうことは考えていないか。

(団体)

今回の事業では徴収は考えていない。理由は参加に対するハードルを下げるほか、生活に困窮している世帯など、必要なところに届けるためである。

(委員)

コロナにより調理室が使えない場合は、21世紀の森と広場を代用と考えているとのことだが、その場合は作ったものは持ち帰りか。持ち帰るのであれば、家で待つ母親などに対する簡単なメッセージカードを作るなどの工夫がほしい。

(団体)

本当は食べながらワークショップを行いたいですが、コロナでできない場合は作ったものは持ち帰ってもらおう。冷たいものは保冷材も配りたい。

(委員)

協働事業として将来の展望を知りたい。

(団体)

協働事業のため、3年間同じように実施し、その後は回数を増やして地域のコミュニティもつくっていかれたらと考えている。

(担当課)

これまで年に1回、父親向けの事業を実施していたが、成果は芳しくなかったため、料理を用いた事業を行いたいと考えていた。団体と一緒にやっていくことで、新たな集客や、いままで行き届かなかった家庭にも意義を伝えられると考えている。地域に根付くことを成果として期待している。

(委員)

参加した人たちについて、男女共同参画の観点での展望はどのように考えているか。

(担当課)

参加者のつながりづくりが求められていると思う。開催する回によって別の方が参加するが、地域にパパサークルが出来ているので、そこにつなげられるようにしたい。地域活動に参加してもらったり、課で開催しているイベントにも参加してもらおうなど、つながりを増やしていきたい。

事業名:松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業

団体名:まつどのこもりかた。編集部

担当課:広報広聴課 シティプロモーション担当室

(委員)

事業を継続して行っていこうと考えているのか。また、松戸は危険な街であるなどのネガティブなイメージがあったということだが、データを根拠にしているのか。

(団体)

Youtubeに動画をあげるなどのWebコンテンツだけでなく、マップと連動してコンテンツの拡大を考えている。また、松戸のイメージは自分たちが周囲からよく聞く話として認識している。女性が暮らすのには治安が悪いとの話を聞く。

(担当課)

市民意識調査等で松戸に対するイメージは、住んでいる方でもイメージが悪いとの回答があるため、市としても危険な街のイメージがあると認識している。

(委員)

すでに制作されたサイトを見てみたが、今までの資金はどのように調達していたのか。

(団体)

いままでは完全にメンバーの実費だった。まず自分たちでやってみようと思った。

(委員)

スポンサーになってくれるところを市と協力して探すことを考えているか。

(団体)

将来的にスポンサーを見つけたいと考えているが、まず周知が必要である。協働事業に採択されたらスポンサー交渉を始めたい。

(委員)

観光協会などがさまざまな形でイメージアップのために活動しているが、そのような団体との連携は考えているか。

(団体)

まずは市内の大学に協力を仰ぎたいと考えている。松戸市内の大学に興味を持った人が、次の段階で、暮らす場所としての「松戸」に興味を持つと思う。その際に見てもらえるようなコンテンツ作成し、松戸への転入につなげたい。

(会長)

担当課に質問なのだが、今回この団体と組む利点は何だと考えているか。また、商業サイトとの差別化はどのように考えているか。

(担当課)

シティプロモーションを行う中で、若者に対する訴求力が弱いと認識しているため、若者をターゲットに考えたい。松戸市の人のあたたかさや松戸市の内面性にアプローチをするところが、商業的なものとの違いであり、そういった部分でこの団体と協働の意義を感じている。

【市民活動助成事業】

事業名：松戸市町会PR動画制作事業

団体名：できる街プロジェクト

(委員)

松戸の高齢化率が上がっており、年配の方は動画を見る機会が少ないが、そういう人たちにはどう伝えていくか。

(団体)

若者の加入率が減っていると聞いたため、まずは動画と考えた。その後はTVを使うなどで高齢者にもアプローチしていきたい。

(委員)

市から加入率について情報提供があったのか。

(団体)

自分から申し込まないと町会自治会に加入できないと、市民自治課より聞いたので、番組や動画の最後に参加を促すメッセージを入れたい。

(会長)

動画を掲載するサイトへのアクセスしやすさをどう考えているか。また、どういうコンテンツだっ

たら関心を持ってもらえると考えているか。

(団体)

団体のツイッターは約1万5千フォロワーがいることから、多くの人に周知できる。つながりがあるプレスもあるためプレスリリースも活用して認知度が上がると思う。アイデアは例えば町会内のおもしろおじさん対決などを考えている。

(委員)

若者が町会に加入することを第一とするならば、楽しいおじさんよりも、入ってよかったことについての切り口が欲しい。防災などの観点では若者はとても重要な役割を担うため、意識してほしい。

(団体)

町会自治会とはこのようなものです、ということを基軸に作成していくが、それだけだと内容的につまらなくなってしまうため、面白味も入れていきたい。

事業名:松戸市ご当地アニメ制作事業

団体名:超普通スタジオ

(委員)

松戸への愛着を持ってもらうご当地アニメとして、松戸市のどのような情報を伝えていくのか。

(団体)

実際の松戸の街を舞台として考えている。背景は実写で、第一話は動物愛護をテーマにしようと考えている。

(委員)

アニメをつくる過程でも市民と一緒にやっていくというのは大切なプロセスだと理解するが、声優オーディションで100人集められるとするのは何か根拠があるのか。

(団体)

柏市のご当地アニメのオーディションを3回実施したことがあり、1回目60人、2回目90人、3回目は100人を超えた。できる街プロジェクトも協力するため100人を超えると考えている。

(委員)

アニメの題名が「超普通都市まつど伝説」ということだが、「超普通」というのは言葉としてあまりふさわしくないと感じる。なぜこの名前をつけようと考えているのか。また、松戸のキャラクターは沢山あるが、作品中で新たにキャラクターを作るのか。

(団体)

千葉県内で作ったものは全て「超普通」と題名につけている。「魅力発信」などという言葉では、逆に若者は観たくなる傾向があると考えている。キャラクターは作ろうと考えているが、既存のキャラクターも使用できないか、検討中である。

事業名:松戸市民向けSDGs普及啓発事業

団体名:まつど地域活躍塾つながりの会

(委員)

まつど版 SDGsということだが、松戸の特徴をふまえて、特定の目標を中心にやっていきたいなど考えているか。また、助成を受けて木更津市を見学したいということだが、なぜ木更津市なのか。

(団体)

市民が自ら「自分たちの生活とは何か」を考え、身近な生活に関連付けて冊子をつくりたい。木更津は県内で早期にSDGsに取り組んでいる。現在、オーガニックシティとして進めていることから参考にしていきたい。

(委員)

具体的にどんな取り組みをどう進めていくのか教えてほしい。また、普及啓発の効果の評価はどのように行うのか教えてほしい。

(団体)

これからネットワークを形成して議論していきたい。今年度、団体独自で実施した「SDGs基礎講座」でも触れたが、市内の市民活動団体の活動内容自体が、SDGsの目標とつながっていることを市民に知ってもらいたい。評価方法については、フォーラムを開催し、参加者にSDGsの認知度や意識をアンケートで確認していきたい。

(委員)

コロナで人が集まれない場合はオンライン等の利用を考えていないか？

(団体)

今年度の「SDGs基礎講座」についても、オンラインも検討した。ただ、フォーラムのような大きなものは、これから検討していきたい。

(委員)

普及啓発、理解を促すだけでは効果が表れないと思うが、次のステップをどうするか想定を知りたい。つくば市はすべての政策がSDGsに結び付けられているなどの取り組みがあるが、そういったことを行政に働きかけていくのか、または市民としての活動なのか。

(団体)

行政としてもSDGsを進めていると思うが、我々は市民感覚、市民のレベルでSDGsを進めたい。

事業名:歌声喫茶で地域高齢者を元気にする事業

団体名:元気会

(委員)

団体概要調書で、今年度は感染症対策のために活動中止と書いてあったが、現在はどのようにしているか。また、来年度採択されたときに対策はどうか。

(団体)

令和2年の1～2月は歌声喫茶を開催したが、3～10月途中までは中止していた。10月に市から実施の許可が出たため、40人以内で距離をとって実施している。従来ならばお菓子とお茶を配っていたが、お茶のみにして、2時間実施している。演奏を聴くだけの内容にし、入口では体温検査、消毒もしている。

(委員)

歌を歌うときにマスクはつけているか。

(団体)

マスクは全員着用している。

(委員)

新企画を行うとあるが、予算概要には新企画分の費用の計上がないがどうするか。

(団体)

報償費の3万円の中に含めている。新企画で新しい先生を呼ぶ費用として計上している。

事業名:子育てママコミュニケーション事業

団体名:にこにこチャイルドサークル

(委員)

事業計画書にワークショップの内容が書かれているが、もの作りをしていくとどのようなことを考えているか。

(団体)

ハロウィンにはカボチャを使って親子でカービングしたり、かぼちゃやおぼけの折り紙をしたり、親の特技を活かして季節ごとに行う。

(委員)

2千枚のチラシはどこに配るか。また、事業内容について、2月に親子活動を市内公園で行うことを考えているとのことだが、寒さやコロナで厳しいのではないか。

(団体)

チラシは市内保育園、幼稚園に置くことを考えている。また、募集チラシを置いたらさっそく応募がきた。公園については、子どもは寒くても公園に行きたがることもある。実際2月にも公園に行くことがある。親の気持ちとしては疲れさせて寝付かせたい気持ちもあり、公園で遊ぶことは有効と考えている。代替案も考えられたらと思う。また、コロナ対策としてマスク着用は必須としている。

(委員)

農園で自然体験とのことだが、実現の可能性は。農家との連携はどのように行うか。また、会員の交通費を計上しているが、スタッフの交通費か。

(団体)

交通費は移動費である。農園についてはまだ市内で見つけられていない。石井農園が近くに

あるが利用は厳しい。昨年は沼南町まで行ってトマトを採ったりした。

事業名：地域横断型まちづくりバーベキュー事業

団体名：竹ヶ花昭成会

(委員)

予算書では参加費が収入にないが、無料でよいのか。継続するうえでは収入を考えなければいけないが、将来はどうするか。また、100人が集まるとなると、どこで開催するのか。

(団体)

参加者から、事業開催にあたっての演目などの要望事項があった場合や、参加者数が増えれば会費をとることも考えている。会場については、竹ヶ花に雷電神社があり、100平米くらいの広さがある。テントを張り、焼き場を設けて実施する想定でいる。ソーシャルディスタンス、時間差、作り置き của テイクアウトなどの工夫で実施する。

(会長)

横断的な関係づくりはとても大切だが、隣接町会と話しているのか。また、事業内容のうち、4月のBBQの討議とは何を行うのか。

(団体)

隣接町会とは話をし始めている。4月の討議はコロナの影響で実施可否をどうするか、を検討する場である。

(委員)

事業の目的のうち、サポセン連携の実践でノウハウ取得とあるが、連携して何かを行うのか。

(団体)

パワーポイント等の書類作成などが苦手なこともあり、サポートセンターに相談している。活動するうえで難しいと感じたことを協力してもらいたいと考えている。

(委員)

事業内容の中に、「町会所有の防災道具の試し使用訓練」との記載があるが、町会自治会との連携を行いながら実施するのか。団体で防災倉庫を独自に持っているのか。

(団体)

団体は複数の町会・自治会と連携しているため、町会・自治会で所有している防災倉庫を紹介し、実際に使ってみながら個人に情報を提供していきたい。

事業名：食のセーフティネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消事業

団体名：まつどフードバンク

(委員)

食品の提供者として企業や農家と書いてあるが、食材を提供する支援者がいるのか。また、フードパントリーは固定された場所での開催か。

(団体)

ルートの確立はまだできていない。今までメール等で10か所以上の企業に確認をしているが、なかなか良い返事もらえていない。今後の課題となる。農園から余った野菜や果物は提供してもらっている。そちらはルートとして確立している。提供されたものを困窮者等にお渡ししている。パントリーの場所は固定していない。今のところ市内3か所での実施を考えている。フードパントリーまで取りに行くには交通手段がない方もいる。それぞれの地域の困った方が取りに行きやすい場所として新松戸、東松戸、松戸辺りで取り組んでいる。

(委員)

とうかつ草の根フードバンクという規模の大きいフードバンクがあるが、連携しているか。

(団体)

連携している。とうかつ草の根フードバンクとは実施目的が違うと考えている。草の根は子ども食堂に特化しており、連携はしていかなければいけないと考えている。

(会長)

需要と供給で見たときに、フードバンクの需要がどの程度あるのかについては把握しているか。供給についても協力してくれる人達を、どの程度確保しているか。

(団体)

需要と供給の裏付けになるものはないのでこれから取り組みたい。

事業名:発達障がい・不登校の親の会事業

団体名:発達障がい児の子育て会 あんだんて

(委員)

月1回のおしゃべり会をどういった形で進めるのか。

(団体)

5~10名程度で参加しており、悩みを自己紹介で話してもらい、そこで似たような悩みでグループをまとめている。時間は2時間で入退出自由になっている。

(委員)

市内に似たような取り組みをしている団体があると思うが、類似団体や担当課と連携はしているか。

(団体)

団体としてのつながりはないが、関連団体の代表同士は個人でつながっている。市との連携はこれから行う。チラシを配る際に連携をとっていきたい。

(会長)

この事業はピアサポートを行う内容であると感じるが、安定的に運営するノウハウはあるのか。また、この団体を利用した人達はどうなったのか。最後に、市内にこのような悩みを抱えた親や先生はどのくらいいると感じているか。

(団体)

専門職はおらず、スタッフは当事者の親である。親として運営することで、参加者と対等な関

係が持てた。幼稚園の親の参加率が高く、就学相談で参加者がぐんと増える。実際にはそこで安定して来なくなる。それを卒業として捉えており、仲間を新たに見つけたのだと認識している。悩んでいる人は本当に沢山いる。先生からの問い合わせも時折あり、保護者から見てもどうか、といった質問を受けることがある。

事業名:いきいき体操事業

団体名:特定非営利活動法人 アイギス

(委員)

活動に関心の無い人に対して取り組むことが大事と思うが、どのように考えるか。

(団体)

梨香台団地はもうほとんどが高齢者である。その高齢者をどうするかが大切で、声掛け運動等を行い、一人きりの人をどうやって引っ張り出すか、に取り組んでいる。特に男性の独り住まいの方にアプローチすることが大切だと感じている。

(委員)

事業の予算で、食料費が自販機から15人分とのことだが、参加者に足りるのか。

(団体)

飲料を持参して来る人もいる。忘れた人に渡す分として計上している。何も持参せずに参加する人もいるため、その場合は道具一式を差し上げている。

(委員)

団体の予算決算規模がとても大きいのが、体操の参加料としての収入か。

(団体)

昨年度は県からの助成金で100万円収入があった。今年度は民間の保険会社の助成金に応募して、ソーイングルームをつくる企画で助成金を交付された。

(委員)

実施回数を増やすことはできないか。

(団体)

回数の増加については要望をいただくことがあるが、団体メンバーの高齢化により増やすことが難しい。

事業名:中金杉きくの会事業

団体名:中金杉きくの会

(委員)

これまで自力で活動していたが、今回助成金に応募するという事は、これをきっかけに今まで以上になにかやりたいことがあったのか。また、踊ることは市民にとってどう有益か。

(団体)

小学校に依頼を受けて行ったりしたが、自分達の住まいに近い地域の小学校に行ってもっと

活動したいと考えている。一緒に炭坑節や花笠を踊り楽しむこと、みんな昔の人は踊れるので、最後に炭坑節をやりたいというと、足が悪い方も手ふりで楽しんでくれる。

(委員)

小学校の子どもたちとの地域連携はとても意味があると思う。みなさんの移動手段は車か、公共交通か。

(団体)

車で移動している。親子で踊りを楽しめるようにしたい。

事業名:居場所提供と家出女性保護事業

団体名:NPO法人仮り暮らし

(委員)

予算概要の収入のうち、正会員からの寄付金だが、団体拠出金に対して多いと感じる。正会員の負担は大変ではないか。また支出のうち対象外経費にはなるが、光熱水費を相当額計上しているのはなぜか。

(団体)

正会員の中でも寄付額が高額の人もある。光熱水費については、個室にエアコンがついていることもあり、高くなっている。

(委員)

家庭復帰に向けての支援をして、プログラムを受けた人たちがどのように巣立っていったか、事例を挙げていただきたい。また、居場所づくりの漫画カフェについて、運営の資金源は何か。

(団体)

場面緘黙症の方の利用があった。親から「声が出るでしょ」とプレッシャーをかけられ家出してきた方であったが、基幹相談支援センターCocoにつなげることができ、グループホームと一緒に探すことができた。漫画カフェの運営資金は、売上資金や正会員からの寄付金で賄っている。

(委員)

利用者について、自立するまでの滞在期間はどのくらいか。また、問い合わせが多くある中で、入れなかった人に対してどのように対応しているのか。他の団体等との連携を行っているのか。

(団体)

滞在期間は最長1年と伝えていて、大体3か月～半年で出ていく子が多い。連携先は、千葉県の子どもシェルターである帆希(ほまれ)、新宿のColabo(コラボ)、渋谷のBOND(ボンド)、あとは児童相談所や警察。本人が連絡しづらい場合は、団体が仲介している。

事業名:各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業

団体名:北小金ドリームプロジェクト

(委員)

もともと北小金でイルミネーションをやっていた団体があると思うが、どのように連携しているか。

(団体)

イルミネーションを行っている団体から声がけいただいて、手伝っている。また、地域の方々とZoomなどを利用して打ち合わせを行っている。

(委員)

北小金周辺には商店の事業者は何店舗くらいあるのか。

(団体)

北小金周辺で200～300事業者くらいある。当団体は個人事業主の団体なので、全事業者が入っているわけではない。北小金には他の団体もあるので、連携していきたい。

(委員)

事業内容にある朝市について、人数の規模は。

(団体)

初めて今回開催することになっているので、人数はわからない。

(委員)

今年と昨年、事業を実施されているが、反省を踏まえて力を入れていることは。

(団体)

コロナ禍で密にならないように気を付けている。朝市は、入口と出口を作って、人数制限をする。クリスマスマーケットをやったときは、高齢の方を中心に沢山の人来ていただいた。朝市も高齢の方にも来ていただきたい。

事業名:みんなで育て、みんなでつくる沿道での食べられる景観事業

団体名:エディブルウェイプロジェクトチーム

(委員)

予算概要について、消耗品費が8万5千円も計上されているので、スポンサーを探してみてもどうか。また、実際に近くを歩くことがあるが、一軒家にはプランターが置いてあるが、マンションは対応していない感じがする。町内会に声がけして、マンションに置ければもっと広がるのでは。

(団体)

プランターについてはお店にご協力いただいております、かなり安価に手配することができています。また、現在は沿道に置けるということで、一軒家がメインになっているが、マンションの方からも参加希望の声がかかっていて、ベランダで栽培する等のボランティアメンバーとして加わっていただく相談をしている。また、ワークショップ等の講座も考えていて、プランターの活動だけでなく、ワークショップ等で地域に広げていく活動も同時に行っていきたい。

(委員)

育てた野菜を、化粧水や石鹸に活用してみてもどうか。

(団体)

昨年度まで野菜を用いて鍋等をやっていたが、コロナの影響があり現在はご家庭で利用していただいている。ハーブで作るスワッグのワークショップを行う予定。

(委員)

6軒から始まって46軒になり広がっている中で、課題や難しかった点は。

(団体)

昨年度までは大学の研究室が主体でやっていたが、今年度は市民活動団体として地域の中で活動している。大学だと継続性に課題があったが、今年度からは地域の方と一緒に継続していきたい。

(委員)

事業内容にイタズラの防止を図る、とあるが具体的には。

(団体)

人通りの多いところのプランターは、ごみを捨てられたという話があった。クラフトなどを行って綺麗におけば、ごみを捨てられないのではないか、ということで実践している。

事業名:働くおとなのホッとできる居場所づくり事業

団体名:まちなす・Labo/Friends

(委員)

今までの相談はどのようなものがあったか。

(団体)

コロナの影響で、10月からやっと開催できるようになって1回開催したが、2名の方に来ていただいた。統合失調の病気を持っている方がいて、これから働きたい、という話を伺って、笑顔でお帰りになられた。

(委員)

事業をどのように広報しているか。

(団体)

多くの人に周知していくことが大切だと考えている。市民センターや公民館にはチラシを配架していただいている。会場のスタートアップオフィスにもチラシを配架している。広報まつども掲載している。

(委員)

電話での問い合わせに対応しているのか。

(団体)

無料のオンライン相談室を行っている。最終的には相談室に来てもらいたいと考えている。

(会長)

計画書には、会場は駅から近いところ、とあるが、来年度もスタートアップオフィスを使うのか。

(団体)

カフェなど入りやすいところがいいと思っているが、コロナの影響でなかなか見つからない。公民館とかでは会議っぽくなってしまおうと考えていて、他に良いところがあれば検討していきたい。

(会長)

コワーキングスペースはお金がかかるのでは。

(団体)

ギリギリで賄える予定である。

(委員)

団体だけで、解決できない問題が出た場合はどうするか。また、これまでに他機関につなぐ必要があると感じた人はいたか。

(団体)

行政等と連携していきたい。この前来られた2人は、すでに相談にかかっている方だったので、こちらでつないだことはない。

事業名:冒険山開放に伴う見守り事業

団体名:冒険山開放委員会

(委員)

事業内容は、ソーメン流し、焼き芋大会等を実施する予定であるが、予算をみると参加費を徴収していない。参加費を取っても来てもらえるのでは。

(団体)

今までは近隣の町会自治会から、支援金をいただき活動している。今後のことを考えると、参加費等も検討していきたい。

(会長)

団体の持つ目標や問題意識は、地域の人達とどれくらい共有できていると考えているか。

(団体)

冒険山の修復作業を始める際、周囲からはやめたほうがいいんじゃないの、というような意見もあった。このようなギャップを、資料を配布したり、活動を行うなかで着実に埋めていきたい。

(委員)

学校や先生の協力は得られているか。

(団体)

学校の授業の中で冒険山を活用してもらったり、草刈りのために、団体のスタッフが学校に入ったりと連携体制はできている。

(委員)

令和2年度は活動できていない、と計画書には書いてあるが全くできていないのか。

(団体)

活動は行っている。第1、第2の日曜は、7～10名の子供たちが来ている。焼きいもの集いは、68名の参加申し込みがあった。

(委員)

見守りスタッフを19名から25名に増やしたいとあるが、どのような方法で増やすのか。

(団体)

チラシやポスターを配布したい。

事業名:坂川水系自然環境向上事業

団体名:坂川の花桃を愛する会

(委員)

2018年にナマズの稚魚を放流したが、現状はどうか。また、来年度は何の稚魚を放流するのか。

(団体)

千匹放流したが、釣りをした方から「見たよ」という情報はある。自然なので、長丁場でみていきたい。放流する魚については国交省と相談しながら決めていきたい。

(委員)

放流する効果はあると考えているか。この川に魚が居つくかどうかのモニタリングができる方がいるのか。いないのであれば、アドバイザーを呼んでもよいのでは。また、団体概要調書にある、今年度の団体予算の36万円はどのような内訳なのか。

(団体)

小金高校の先生等専門的な見地で活動している方や、松戸市の漁業組合の方にも入っていただきたいと思っている。予算については今年度の松戸市市民活動助成金10万円と会員の会費や寄付となる。

(委員)

事業内容のスケジュールについて、4～6月の3か月のみの活動ということで良いか。

(団体)

6月は稚魚の放流を行う。定点観測等は年間で行うが、助成金の対象となるのは6月までの活動となる。

事業名:[生きづらさ・ひきこもり]からだどころに栄養をあたえる場づくり事業

団体名:生きづらわーほりプロジェクト

(委員)

引きこもりの方はまず部屋から出るのが大変だと思う。料理ということでさらにハードルが上がるのではないか。

(団体)

何かを得られるものがないと出ていくのが難しいと考えているので、料理としている。

(委員)

引きこもりの方との接点の取り方として、どのような手段を使って、来てもらうのか。

(団体)

まずは情報を伝えなければいけないということで、紙ベースとオンラインで告知をしている。松戸市内で情報交換する場があるが、そこで伝えてもらったり、親御さんを通して伝えてもらったり

している。

(会長)

参加者は何歳くらいの方をイメージしているか。

(団体)

30～40代の参加者が多いが、若者向け、女性向けのものも分けて実施する。

(会長)

属性に近いもの同士のほうが参加者が来やすいと考えているのか。それは経験則か。

(団体)

参加者本人や親御さんから聞いた話だと、そのほうが参加しやすいということであった。

(委員)

クッキングミーティングは1回あたり何時間くらい行うのか。当日の流れを教えてください。

(団体)

4～5時間で実施する。集まって食材を買い出しするところからスタートし、一緒に料理を作って食べて、おしゃべりする時間を作る。

(委員)

本年度の市民活動助成金で、8月から毎月1回開催しているが、状況はいかがか。

(団体)

参加数は2～3名なので、目標を下回っている状況である。

事業名: バングラディッシュ文化交流を通じた設立3周年コンサート2021事業

団体名: 特定非営利活動法人 桜 JB FOUNDATION

(委員)

人気アーティストを呼ぶとのことだが、交通費は報償費に含まれているのか。また、予算概要の収入で事業収益として7社からのスポンサー費が計上しているが、スポンサーの見込みはたっているのか。

(団体)

交通費は入っていない。

(委員)

松戸市には、バングラディッシュの方は何人くらい住んでいるのか。日本人も参加してのコンサートと理解してよいのか。

(団体)

バングラディッシュ人だけでなく南アジアの人や日本人も盛り上がってほしい。

(会長)

松戸市内は国際交流やNGOもあるが、他の団体との関係はあるか。

(団体)

一度新松戸に行ったことがある。

(会長)

松戸市内ではバングラディッシュのコミュニティはあるのか。

(団体)

松戸市内に50人くらいは住んでいると思うが、みんな東京に行っている。松戸市内のバングラディッシュ人のコミュニティはない。

事業名:音楽活動による街の活性化事業

団体名:松戸音楽活動同好会

(委員)

現在の活動は中止しているとのことだが、計画書には福祉施設での実施が36回予定されている。施設側の受け入れがない限り事業が実施できないのではないか。また、演奏する側、聞く側のコロナ対策はどのように考えているか。

(団体)

コロナは収束することとして計画している。現状のままであれば、DVD等を配布することも考えている。

(委員)

事業内容にある、新型コロナに対するガイドラインとは何か。

(団体)

市の公共施設のガイドラインを遵守する。

(委員)

福祉施設でのボランティアが難しい場合、付近の小学校等での活動などは考えているか。

(団体)

町内会でサロンを行う予定はある。小学校についても検討する。

事業名:全ての命を大切に、人と人の繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業

団体名:松戸地域猫スタートサポート

(委員)

計画書の中に捕獲器が少ないとの記述があるが、具体的な数字はわかるか。また、全国的にも地域猫についての活動があるが、連携はしているのか。

(団体)

松戸市で貸出ししている捕獲器は5台なので、活動している方は自分で購入している。他団体との連携については、東京や千葉などの団体と協力している。

(会長)

内容としては、担い手づくり事業と高齢者向け事業の2本立てということか。

(団体)

その通りである。あとは猫を好きではない方にも興味を持ってもらうために、フォーラムから町

会、そしてセミナーを行うことで、より多くの方に来てもらえるのではないかと考えている。

(委員)

一人暮らしの高齢者が多く、飼い主が入院や逝去することで、猫だけではなく室内犬等が残される場合がある。町会、地域包括支援センター、松戸市、NPO 等と幅広くネットワークを作られたほうがよいが、現状どのような感じか。

(団体)

動物に関わる活動をしている色々な分野の団体と付き合いをさせてもらっている。

(委員)

高齢者がペットを飼っていることを知っている町会長の割合は。

(団体)

町会長はペットの情報はあまり持っていない。地域包括支援センターの方が情報を持っている。ペットの飼い主が包括に直接相談に行くようだ。

事業名: プレママ教室事業

団体名: ぶぶぶママ大学

(委員)

愛着形成や胎教に関する冊子を作るということだが、どれくらいのページ数、専門家のチームで作るのか等、詳しく教えてほしい。

(団体)

8~10ページくらいのもを考えている。知人にイラストをお願いするつもりである。内容については産婦人科医等に確認してもらう予定である。

(委員)

ビジュアル講座だと全国の方も見るができる。例えば北海道の方から申し込みがあった場合はどうするか。

(団体)

松戸市の方を優先したいと考えているが、余裕があれば市外の方にも配信したい。Youtubeのアドレスを1人ずつに送るため、スタッフに余裕があれば市外の人にも対応する。

(委員)

申し込みがあった方以外が見ることはできないのか。Youtube以外の他の方法も検討できるのでは。

(団体)

育児歌、おむつ替えの紹介とか、Youtube 配信ではなく、団体ホームページに載せることはできると考えているが、先輩ママパパのプライバシーの観点から、講座は限定公開を考えている。

(委員)

愛着形成ができていないという海外の調査結果だが、日本でも調査結果はあるか。また、冊子は絵本形式になるかと思うが、200部をどのように配布される予定か。

(団体)

日本の調査結果はわからない。熊本大学等が胎教についての検証をしたデータがある。胎教したグループは産後うつになりにくかった。冊子の200部は、毎月10組くらい参加されるので、申込者にお送りし、余った分を産婦人科や小児科等に配架したい。

事業名:親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業

団体名:なないろのもり

(委員)

オンラインと会場を併用するのか。

(団体)

状況によっては併用も考えている。

(委員)

オンラインによる事業実施を広げていくことを考えているか。

(団体)

興味を持っていただけたなら、広げていくことを考えている。

(委員)

今年度はダンスやクラフトなど、動画配信で行っているようだが、どのような感想があったのか。

(団体)

今年度の夏休みのワークショップについては動画配信を行ったが、参加者から感想を募ったところ、作ったものの写真を送ってもらったり、家で踊って楽しかった、という感想をいただいた。動画配信ということで、一方的な配信にはなってしまったが、手ごたえはあった。

(委員)

地域商店や企業はどのようにつながっているのか。

(団体)

クリスマスフェスティバルの協賛では、子供たちのためなら、ということで6年間協賛していただいているところがある。サポセンからの紹介で、企業の方からも興味を持っていただいている。

5 閉会